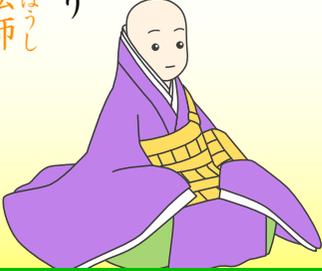


百人一首 ( 歌番号 : 81 ~ 85 )

よもすがら  
ものおも(う)  
物思ふころは  
あ明けやらで  
ねやのひまさへ  
つれなかりけり

しゅんえほうし  
俊恵法師



ながらへば  
またこの頃や  
しのばれむ  
憂しと見し世ぞ  
今は恋しき

ふじわらのきよすけあそん  
藤原清輔朝臣



よなか  
世の中よ  
みち  
道こそなけれ  
おも(い)  
思ひ入る  
やまのおく  
山の奥にも  
しか  
鹿ぞ鳴くなる

こうたいごうぐうのだいぶしゅんせい  
皇太后宮大夫俊成



おも(い)  
思ひわび  
さても命は  
あるものを  
憂きに堪へぬは  
涙なりけり

どういんほうし  
道因法師



ほととぎす  
鳴きつる方を  
眺むれば  
ただ有明の  
つき  
月ぞ残れる

ごたくだいじのきだいじん  
後徳大寺左大臣



ねやのひま  
さえつれな  
かりけり

うしとみし  
よぞいまは  
こいしき

やまのおく  
にもしかぞ  
なくなる

うきにたえ  
ぬはなみだ  
なりけり

ただありあ  
けのつきぞ  
のこれる